

# 日進月歩



39日間の夏休みも終わり、2学期が始まりました。充実した時間が過ごせたでしょうか？

さて、一年の中で最も長い2学期。合唱コンクールや持久走大会、3年生は修学旅行に2年生は職場体験学習など、大きな学校行事もあり、楽しみにしている人も多いのではないかと思います。勉強に行事に部活動に、一つひとつ全力で臨んでほしいと思います。

まだ「夏休みモード」が抜けていない人もいるかもしれませんが、一日も早く生活習慣を整えましょう。

## ふりかえりを次に生かそう！

前回の「日進月歩」で、夏休みを有意義に過ごすために、目標【Plan】を立てて計画的に生活しましょうという話をしました。実行できた【Do】かどうか、次のチェックリストで自己評価【Check】してみましょう。

- 「夏休みの記録」を活用して目標や計画を立て、達成することができた。
- 学校生活のリズムを崩さず生活できた。(起床・就寝時間、食事、運動など)
- 余裕をもって、課題を進めることができた。
- 学校からの課題+αの勉強ができた。(自主学習やミライシードなど)

どうでしたか？ 自由な時間がたっぷりあった夏休みですが、チェックがつけられた人は自分自身をコントロールして生活や学習ができたということだと思います。きっと自信をもってスムーズに2学期をスタートできたのではないのでしょうか。

逆に、チェックがつかなかった人は、どうでしょうか。例えば、学校が始まってから朝起きるのが辛いと感じたり、課題をため込んで慌てたり、さらに提出が遅れてしまったり、今になって何かしら大変な思いをしていませんか？

今のみなさんの姿は過去のみなさんが取り組んできたことの結果です。また、これからみなさんがどうなっていくかは、今のみなさんの取り組み次第です。1学期や夏休みを振り返り、よくできた点はどんなことだったか、見直さなければいけない点は何なのかをしっかりと自己分析してみましょう。

さらに、振り返ったことを次の生活にいかして、改善に向けた行動【Action】をしてほしいです。

今が新しい自分になるチャンスです！まずは一歩踏み出してみましょう。

そして、自分自身の力で、2学期の学校生活をよりよいものにしていきましょう。



## 家庭学習をレベルアップ!

4月に実施した3年生の「全国学力・学習状況調査」の生徒質問紙と、生徒・保護者対象に行った「学校評価アンケート」の中に、家庭学習に関する項目がありました。その結果が、次の通りです。

### 〈3年「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙より〉

○ **平日**、学校の授業以外に、一日あたりどれくらいの時間勉強していますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

3時間以上	7.5%	2時間以上3時間未満	19.4%	1時間以上2時間未満	31.3%
30分以上1時間未満	19.4%	30分未満	19.4%	全く	3.0%

○ **休日**、学校の授業以外に、一日あたりどれくらいの時間勉強していますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

3時間以上	7.5%	2時間以上3時間未満	6.0%	1時間以上2時間未満	19.4%
30分以上1時間未満	19.4%	30分未満	32.8%	全く	13.4%

### 〈「第1回 学校評価アンケート」より〉

○ あなたは1時間以上家庭学習(塾や習い事を含む)をしていますか。  
「とてもそう思う」・「そう思う」という回答を合わせると 63.5%

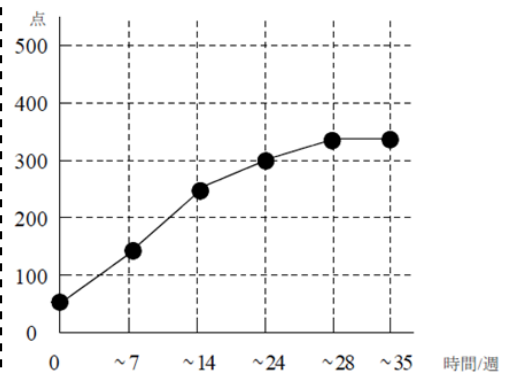
3年生では授業以外の一日の学習時間が1時間以上の生徒の割合が平日 58.2%、休日25.4%と大変心配な数値が出ました。4月の回答なので、部活動の一段落した夏休み後の今ならもっと高い数値が出てほしいところです。私立入試まで4か月、公立入試まで5か月半。頑張りましょう。

1・2年生も含めた学校評価では、1時間以上勉強している生徒が 63.5%と少し割合が高くなりましたが、それでも二中の目標「1時間以上勉強する生徒 80%以上」には届きませんでした。

学校からは、適切な課題を・・・と考え、3年生は受験勉強を計画的に進められるように「新研究」、1・2年生は基礎学力定着のため「セミナー」が毎日宿題として出されています。また、各教科からの宿題もあります。これらにプラスして、授業の予習・復習などを行ったら、1時間はあつという間のはず。

ここで、改めて見直したいのが「学習の手引き」です。手引きには、「一日の学習時間を1時間半から2時間とし、それらを継続させること」とあります。理由として、こう書かれています。

一日2時間、つまり一週間で14時間勉強すると、まったく勉強していない人に比べて、テストの平均点が5教科で100～200点近く上がるといわれています。  
これは、ある一定時間数だけ勉強すると、家庭学習の効果が急激に表れることを意味しています。逆に、ある一定時間に達していなければ、効果は出にくいです。  
この時間は「効果を生む最低時間」と名付けられています。この「効果を生む最低時間」を基に、平日2時間、テスト前4時間を目標に学習をするとよいでしょう。



(引用:「家庭学習時の時間の推移と成績の相関図」  
奈良市立若草中学校(Benesse view21 中学校版 2009年 Vol.2 掲載)

つまり、計画的・継続的な学びが大きな学習効果を生むということです。

新学期になるこの機会に、家庭学習の時間や学習内容を見直し、学力アップを目指しましょう!コツコツは勝つコツ。ゲームやスマホを握っている1時間を、机に向かってペンを握る1時間に見直してみませんか?

## 保護者のみなさまの声をお聞かせください!

2学期もどうぞよろしくお願いたします。お子さんの学習面について、「こんなことを聞いてみたい」「こんなことで悩んでいます」など、ご意見やご感想がありましたら、ぜひお聞かせください。  
次回の学力向上通信では、【中間テストの学習計画】について特集します。

